

ヨコハマ人・まち 第22号

まちへの人がまちをつくる

発行：横浜市 都市整備局 都市づくり部 地域まちづくり課 TEL045-671-2696 FAX045-663-8641
Email: tb-chiikimachika@city.yokohama.jp

【ヨコハマ人・まち目次】

- まちづくりは楽しい！自分たちで、自分たちのまちを作っちゃおう！～まちの未来はこどもたちのもの
- 青葉区に「まちのルールづくり相談センター」がオープン！
- よこはまのまちづくり活動情報（募集案内）

まちづくりは楽しい！

4月27～29日に「こども環境学会主催 横浜市 大会」(こども環境学会主催 横浜市 共催)が開催されました。

ニニでは29(日)に行われた分科会「遊んで創るまちづくり」の様子を二報告します。

自分たちのまちを作っちゃおう！

まちの未来は こどもたちのもの

まちづくりに こどもの参画を進める動きが各地で出てきています。分科会では地域をどのように活用し、また今後どう活性化を図ろうとしているのかについて、理念と手法、具体的な実践内容が4つ紹介されました。

て、自分たちが作ったという達成感が自然と「自分のまち」という愛着につながっているようです。

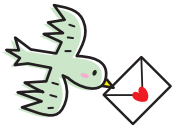
「ヨコハマ市民まち普請事業」にみるこども参画 (横浜市都市整備局)

「ヨコハマ市民まち普請事業」は、市民が発案した身近な環境の整備を実施する事業です。小学校のビオトープ、地域の公園、バス停の壁面緑地といった2005年度の整備にどのような場面でこどもが関わったのかが紹介されました。地ならし、土運び、タイル作りなどのハード面の作業に積極的に取り組んだり、「こんな場所にしたい」というこどもの立場での要望がそれぞれの地域に活かされています。こどもたちにとっ

ふじさわこどもまちづくり会議 (藤沢市)

「私」たちのまちを良くしよう！」と小中学生を対象にまちの図面や模型づくりなどを行い、未来につなげるという将来を見据えた試み（1998年から実施）が報告されました。こどもたちが、今ある問題を理解すると同時に、新たな発想による まちの再生や時代の変化に対応できる柔軟性、継続性が生まれることを重視しています。





和田町タウンマネジメント協議会・ 地域と子どもプロジェクト

(横浜市保土ヶ谷区)

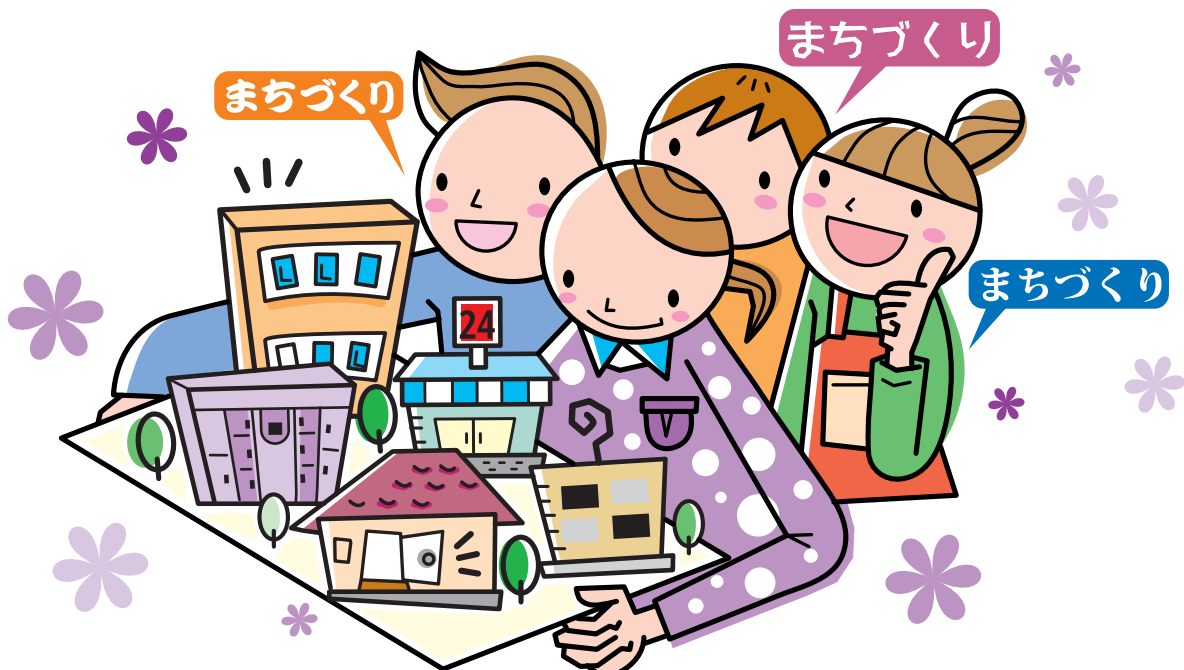
ま ち探検ワークショップや商店街こどもインターンシップ事業を通して、商店街や地元町内会も巻き込んだ「まちの一員としてのこども」のまちづくりが報告されました。商店街が、こどもたちにとって安心できる居場所の役割も担っています。他者や自然、まちなど外界とふれ合う機会がこどもの心身の成長の原点でもあるということが実感できます。

ミニヨコハマシティ+ミニヨコ 研究会 (横浜市都筑区)

大 人は口出し禁止の自由な発想でまちのしくみや空間をこども自身が作り、それぞれの仕事(役割)に責任を持つという擬似的なまちを成り立たせることで、遊びながら社会を学べるという事例が発表されました。実際の活動報告もこどもたちの手で行われました。

幼い頃から、自分の住むまちがどのような問題を抱えているのか、まちをよりよくするためには、何を目指し、何をどう行っていけばよいのか、意識を持って地域で動くことが「まちづくり」への第一歩となり、また、子どもが自分自身を発見し成長する機会にもなります。そして、今回紹介された4つの事例はともに、結果的に「まち」に活気をもたらしています。しかし、残念ながら、まだまだ一般の市民に知られているとは言い難い状況です。どれも、とても楽しそうで、十分に練り上げられた基盤を持つ取り組みだけに、このまま一部の人たちの参加で終わるのでは、もったいない。まちづくりは、みんなで作り上げていくという統一した意識の広報の展開を考えると、どの事例も今後のまちづくりに大きな指標となる可能性を持っています。子どもたちの満足そうな表情を見ると、これからもっと子ども目線を重視したユニークなまちづくりが期待できます。

まちづくりの活動は、日常的には身近な地域が中心になることが多いものですが、子どもたちからの様々なニーズに応えるためにも、地域を越えた交流の必要性を感じる分科会でした。



青葉区に

「まちのルールづくり相談センター」

がオープンしました!

美しい青葉区の街並み

青葉区は、昭和30年代後半から50年代にかけて東急電鉄などによって、田園都市線の新線開発に伴う区画整理事業などにより計画的に開発された地域です。

加えて、大半の住宅地が建築協定付きで分譲され、平成19年4月現在、41地区の建築協定地区と5地区の地区計画区域があり、それぞれの地域のまちのルールによって良好な住環境が守られています。区民のまちのルールづくりに関する関心も高く、

平成18年度には、国土交通大臣より「荻田北二丁目自治会住環境委員会」の皆様が「第24回まちづくり月間まちづくり功労者」として表彰を受け、永年に亘る荻田北二丁目地区の活動が全国的にも評価されました。

区役所のまちのルールづくり機能強化

区役所が主体的に地域のまちづくりを推進できるようにするため、平成19年5月より、都市整備局から青葉区役所へ機能の一部が移管され、まちづくり相談・支援の窓口が一本化されました。これは、まちのルールづくり活動が活発な青葉区のみで試行されるものです。

今回のセンター設置に伴い、

- 1 建築協定、地区計画、地域まちづくり推進条例等の相談・支援の窓口を青葉区役所に一本化します。
- 2 次の業務の窓口を、都市整備局から青葉区役所に変更します。

- ◇ 地区計画等の内容に関する相談や区域内の行為の届出
- ◇ 街づくり協議地区内の建築行為等に関する事前指導・協議
- ◇ 建築協定の区域等に関する相談
- ◇ 都市計画提案制度の相談等



青葉区まちづくり週間

青葉区まちのルールづくり相談センターでは、毎月第4週を「まちづくり週間」と位置付け、区民の皆様に対して積極的に情報発信を行っていきます。

<まちづくり週間イベント予定>

- ◇ 良好なまちなみ写真展（9月予定）
- ◇ 青葉区まちのルールづくり連絡会（12月予定）
- ◇ まちのルールづくりパネル展示
- ◇ まちのルールづくり出前塾

青葉区内でのまちのルールづくりについてのご相談は、いつでも受け付けております。お気軽にご相談ください。

● 問合せ 青葉区「まちのルールづくり相談センター」
(区制推進課企画調整係内)
TEL:978-2217

よこはまのまちづくり活動情報 (募集案内)

【横浜に学ぼう、横浜で増やそう】～パートナーシップでの冒険遊び場づくりについて考える

これまでの横浜市における冒険遊び場づくりの施策展開と、YPCの働きかけや活動の変遷を振り返り、市民と行政のパートナーシップによる冒険遊び場づくりの普及において「何が課題」で「どのように乗り越えてきたのか」を明らかにするシンポジウムです。

- 日時：6月2日(土) 15:00～17:30
- 会場：横浜市青少年交流センター大会議室(501号)
横浜市西区老松町25 241-0673
- 参加費：一般1000円、YPC会員500円
- 申込・問合せ：事務局担当古賀・重松 TEL/FAX03-5430-1060
Email: asobiba@ipa-japan.org http://ipa-japan.org/asobiba/
- 主催：特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会、特定非営利活動法人 横浜にプレイパークを創ろうネットワーク(YPC)
- その他：当日シンポジウム前に上記共催団体の総会、全国集会の実行委員会の開催などもあり、全国各地からプレイヤーやスタッフ、行政職員が集結します。シンポジウム終了後、会場を移し、懇親会(費用別途：3000円程度を予定)を開催します。

地域に子どもの居場所をつくる～中学生いきいき教室～

「中学生いきいき教室」は、平成15年10月から半年間、保土ヶ谷区の和田町商店街の空き店舗を利用して実施されました。中学生たちが毎週集い、自分で目標を設定して活動する。そんな居場所を、「学校」や「家庭」とは異なるところにつくる意義とは？横浜国立大学の三輪先生にお話をうかがいます。

- 日時：6月13日(水) 18:30～20:30
- 会場：開港記念会館1号室(日本大通り駅徒歩1分)
http://www.city.yokohama.jp/me/naka/renraku/kaikokinen/
- 講師：三輪律江氏(横浜国立大学・地域実践教育研究センター 准教授)
- 対象：テーマに関心のある方
- 定員：70人(事前予約不要。当日直接会場へ) ●参加費：無料
- 問合せ：横浜市まちづくり調整局住宅計画課 木村
(電話：045-671-4089)

大岡川源流ほたる観察

ほたるは何秒ごとにひかるか知っていますか？ 答えは現地にて

- 日時：2007年6月16日(土) 18:30～20:00
- 集合場所：氷取沢バス停…バスの案内 上大岡駅バスターミナル3番乗り場より江ノ電バス「磯子台団地循環」のときは「氷取沢」下車、「上中里団地循環」のときは「下ヶ谷」にて下車し「氷取沢」まで徒歩2～3分
★バスの時間…「磯子台団地循環」17:10、17:35、17:58
18:05「上中里団地循環」17:25
- 持ち物：懐中電灯(あしもとを照らすだけ) ※雨天中止
- 問合せ：大岡川FunClub TEL 045-715-2831

健康で美しく暮らそう！！

「みなとスマイル」は、横浜みなとみらい21地区の安全まちづくりをすすめています。このたび『健康で快適なまちづくり』をテーマに地域ならびに近隣にお住まいの堅田他の方と体の健康づくりにかかわる講座を開催します。

- 日時：2007年6月16日(土) 14:00～16:00(開場13:30)
- 会場：日本丸メモリアルパーク 訓練センター第1教室(JR 桜木町駅 徒歩3分)
- 講師：谷上 鎮隆 氏(日本成人病予防協会認定 健康管理士)
- プログラム：第一部《記念講演》生活習慣病を予防するノウハウ
第二部 みんなで参加！！たった3分で出来る健康法
第三部 ミニコンサート【アルバの演奏】
- 問合せ：みなとスマイル(NPO法人 まちづくり・住環境ネットワーク)
横浜市中区新港二丁目2番1号
横浜ワールドポーターズ5階NPOスクエア
tel 045-224-5688/fax 045-224-5689

研究会『共働舎の園芸作業に見る三つのP』

30人の利用者と年間4万鉢の鉢花生産を行っている共働舎の園芸療

法が何にポイントを置き、どんな工夫のもとに行われているかの紹介を通して対象者(利用者)にとってより多くの実りをもたらす園芸療法とはどのようなものか三つの『P』を切り口に考える。

- 日時：2007年7月7日(土) 13:00～
- 場所：社会福祉法人開く会 共働舎2F会議室
(神奈川県横浜市泉区中田西1-11-2)
横浜市営地下鉄線立場(たてば) 駅下車徒歩5分
⇒場所ははこちらへ <http://jhnts.jp/html/jhntsm.html>
- 内容：①『共働舎の園芸作業に見る3つのP』
講師：萩原達也施設長
②『園芸作業のすすめ方』
講師：田嶋希和(共働舎園芸担当・スタディ6期生)
③『園芸の技術指導をして』・『植物遊び』
講師：山浩美(共働舎技術指導・JHTS顧問)
- 締切：平成19年6月27日必着
- 参加費：正会員 ¥3,000 賛助会員 ¥3,500 一般 ¥5,000
※学生割引あり。学生の方は賛助会員の価格にてお申込ください。
※3日前以降キャンセルの場合はキャンセル料を頂戴致します。
(～3日前-参加費の30%、2日前-40%、前日-50%、当日全額)
- 講座終了後、懇親会(¥3000:藍庵・立場駅徒歩2分)を予定しています。
- 問合せ：NPO法人 日本園芸療法研究会 TEL 805-3663

『夏！市民活動体験塾2007』

今年の夏！市民活動団体のスタッフを体験しませんか？

若者のボランティア・市民活動への参加を推進するため、18歳以上概ね30歳までの方に夏の間、市民活動団体(NPO)でスタッフを体験(インターン)してもらおう事業(通称：夏塾)を今年も開催致します。今まで知らなかった新しい横浜に気が付いたり、普段は出会うことのない人生の先輩や、子どもたちと出会えたり、また、新しい自分を発見できるかも知れません。市民活動団体も、塾生の柔軟な発想や、やる気を求めています。是非、夏！市民活動体験塾へご参加ください。

- 日時
○事前研修会：2007年7月7日(土) 13:30～15:00/9日(月) 17:00～18:30、19:30～21:00のいずれかに出席
○お見合い会：7月16日(祝月) 10:00～12:30
○体験期間：7月17日から10月18日までの間に5～10日程度
○事後研修会：10月19日(金) 18:30～20:00
- 会場
○事前研修会&お見合い会：横浜市市民活動支援センター(桜木町)
<http://www.npo-c.city.yokohama.jp/suport/center/access.html>
○体験期間：それぞれの団体によります。
○事後研修会：KGU関内メディアセンター
- 対象：18歳(高校生は除く)～概ね30歳までのボランティア活動・市民活動に興味を持っている方。事前研修会、お見合い会、事後研修会に参加できる方。
- 参加費：600円(保険代)
※事前研修会で徴収致します(既に加入されている方は必要ありません)。
- 申込方法：所定の申込書(ホームページからもダウンロード可)にご記入の上、FAX、郵送、E-mailで横浜市市民活動支援センターへ
※HP上のフォームからも申し込み可。
<http://www.npo-c-city.yokohama.jp/jigyuu/natsu/moushikomi/index.html>
- 申込期限：7月1日(日)
- 主催・問合せ：横浜市市民活動支援センター
〒231-0062横浜市中区桜木町1-1-56みなとみらい21クリーンセンター5階
TEL：045-223-2666 FAX：045-223-2888 担当 川嶋
URL： <http://www.npo-c.city.yokohama.jp>
E-mail： y-sien-c@npo-c.city.yokohama.jp

●まちづくりについての情報を募集しています。

まちづくりに関するイベントや参加者募集、地域で行っているまちづくりの取り組みなどの情報を下記までお知らせください。このページ及びメールマガジン「ヨコハマ人・まち」で広報のお手伝いをします。
情報提供のあて先：
横浜市 都市整備局 都市づくり部 地域まちづくり課
TEL：045-671-2696 FAX：045-663-8641
e-mail： tb-chiikimachika@city.yokohama.jp

「ヨコハマ人・まち」は地域まちづくりに関心のある方への転送、メールマガジンへのお誘い大歓迎です。
メールマガジンの配信申し込み・停止は、下記のアドレスからお願いします。
<http://ml.city.yokohama.jp/mailman/listinfo/hitomachi>

★「ヨコハマ人・まち」バックナンバーはこちら

http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/hitomati/back_num/index.html